

T17b 銀河団 Zwicky 1615.8+3505 の観測

富田晃彦、本間希樹、筒井芳典、祖父江義明 (東大理)、竹内努、中西康一郎、斎藤衛 (京大理)、前原英夫 (OAO)

我々は銀河の集団的スターバースト現象が、近傍で起こっているのかの探索を行ってきた。木曾紫外超過銀河 (KUG; Takase, Miyauchi-Isobe 1993, PNAOJ, 3, 169) は、活発な星生成銀河の集合として用いられるものの1つである (e.g., Maehara et al. 1987, PASJ, 39, 393)。我々は KUG カタログを調査し、銀河団 Zwicky 1615.8+3505 は、そのメンバー銀河のほとんどが KUG であることを見つけ出した (富田・斎藤 天文学会 1994 年秋, 北大, V45x)。1995 年から 1996 年にかけて、メンバー銀河の V, R, I 多色測光観測を木曾観測所 105cm シュミットで、低分散分光観測を岡山観測所 188cm カセグレン分光器で、 $^{12}\text{CO}(J = 1 - 0)$ 輝線観測を野辺山観測所 45 m で行なった。ほとんどの銀河は早期型銀河に典型的な色を示し、 $\text{H}\alpha$ 輝線は非常に弱く、大量の分子雲も確認できなかった。この銀河団はスターバースト銀河の銀河団ではなかった、という結果を得た。